



地域と共に歩み、未来を創る明和観光商社

令和8年度 事業説明会

一般社団法人明和観光商社

本日の流れ

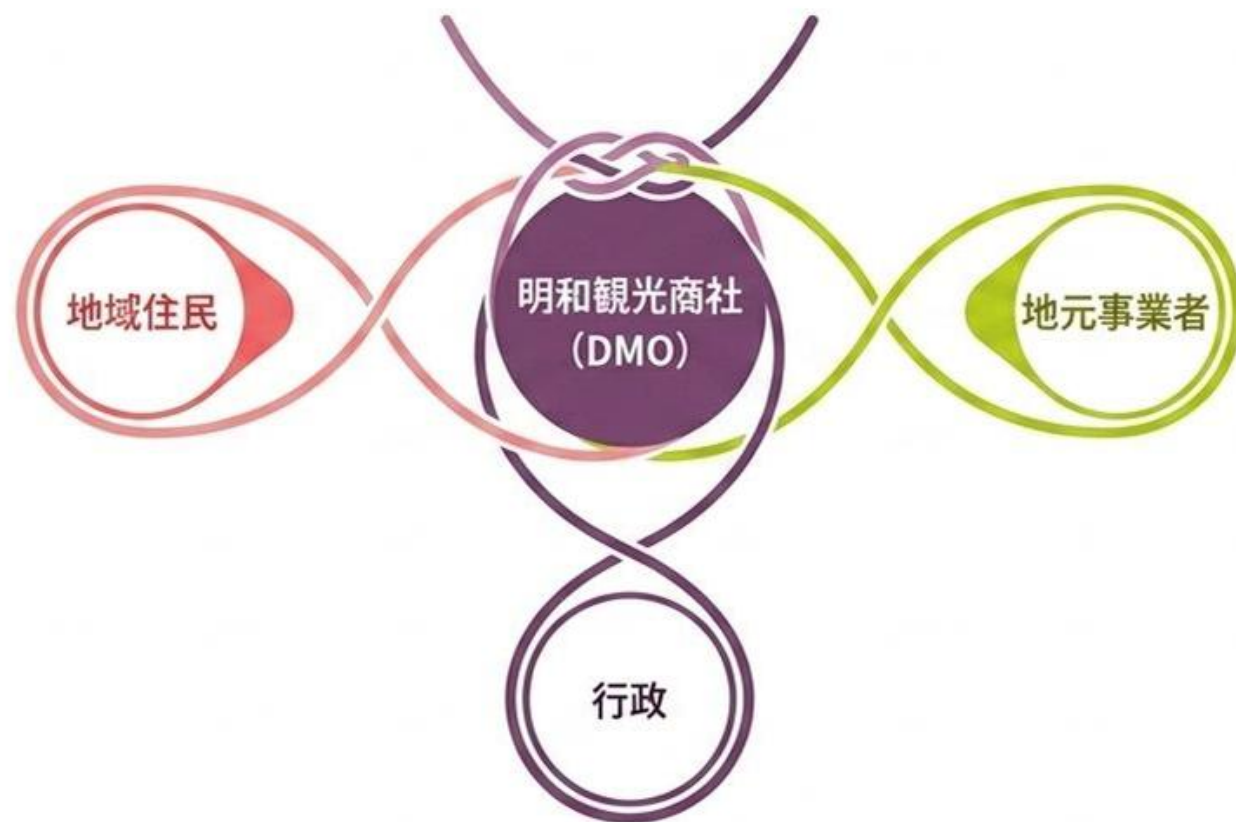
- 1、ご挨拶
- 2、体制について
- 3、各部からの報告
 - (1)価値創造部
 - (2)DMO推進部
 - (3)史跡歴史体験部
 - (4)まちづくり部
- 4、質疑応答
- 5、閉会・懇親会

2、体制について

私たちの存在意義

観光を通じて「地域の誇り」と「稼ぐ力」を引き出す

私たちの存在意義（DMOとは？）

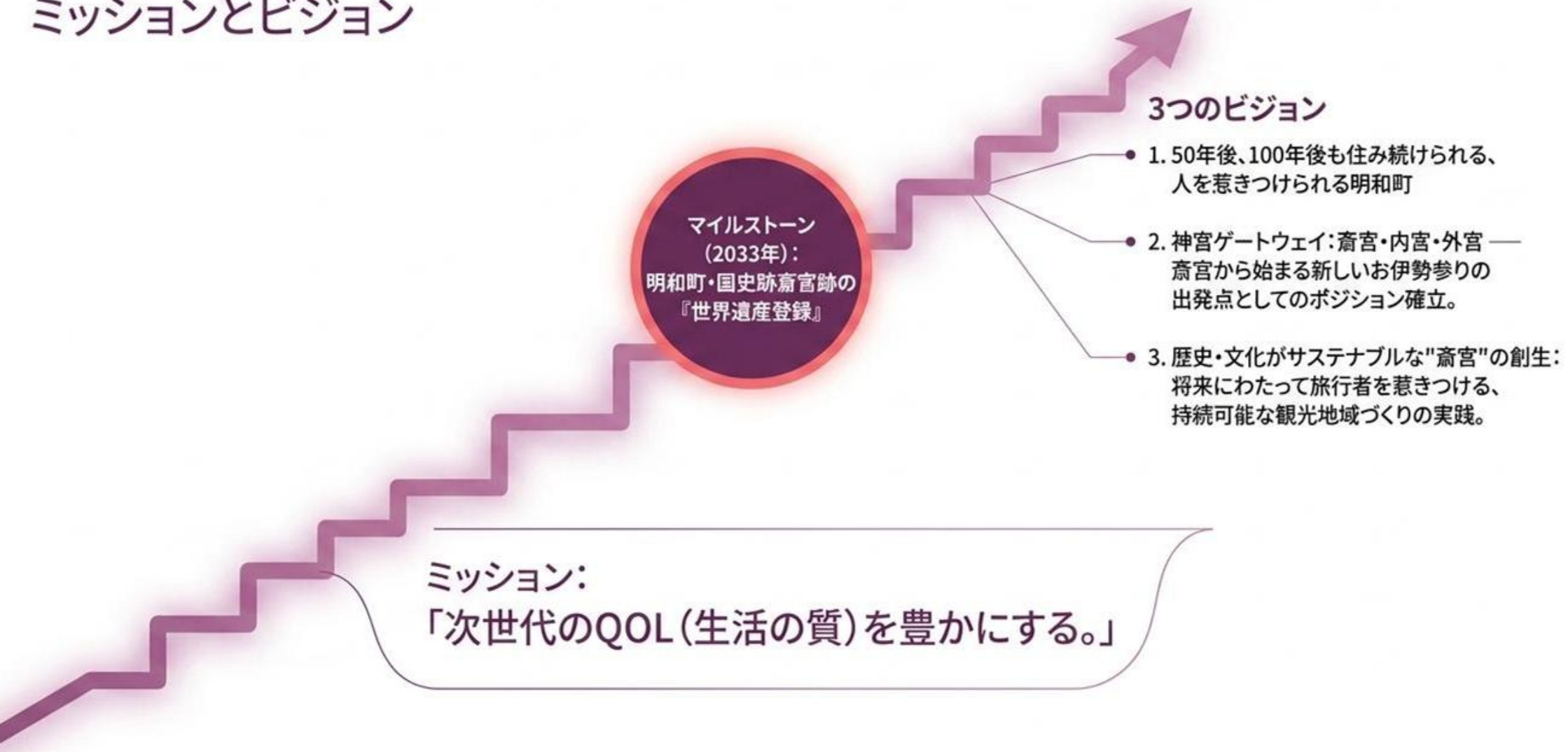


私たちは単なる「観光協会」ではありません。
「観光」という手法を使って、
皆さんの日々の暮らしを豊かにし、
明和の魅力を未来へ繋ぐ
「まちづくりの会社（橋渡し役）」です。

目的：住んでいる方の「誇り」づくりと、
地域資源を活用した「稼ぐ力」の創出。

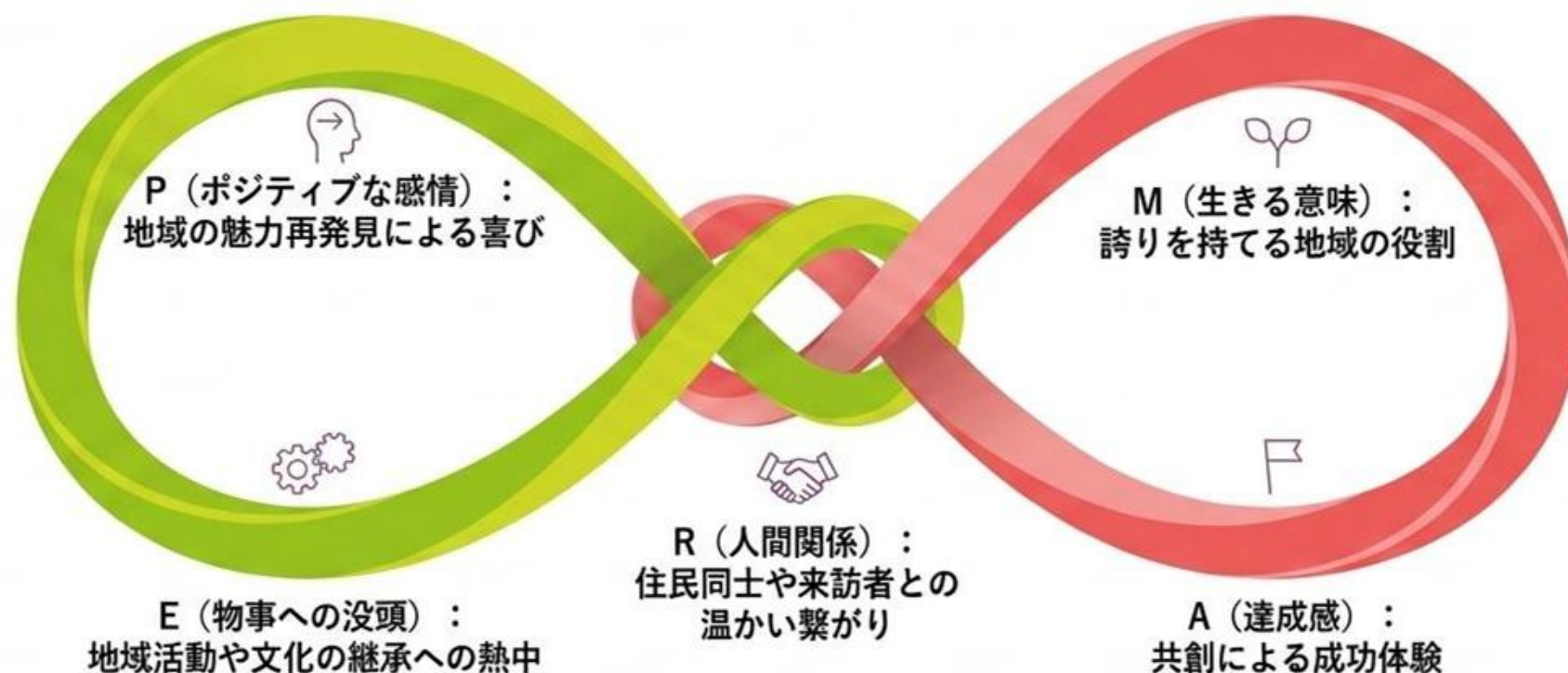
私たちのミッションとビジョン

私たちが目指す、50年後も輝く明和町の未来 ミッションとビジョン



観光振興の本当のゴールは「住民の幸福」です

観光と住民の幸福（ウェルビーイング）

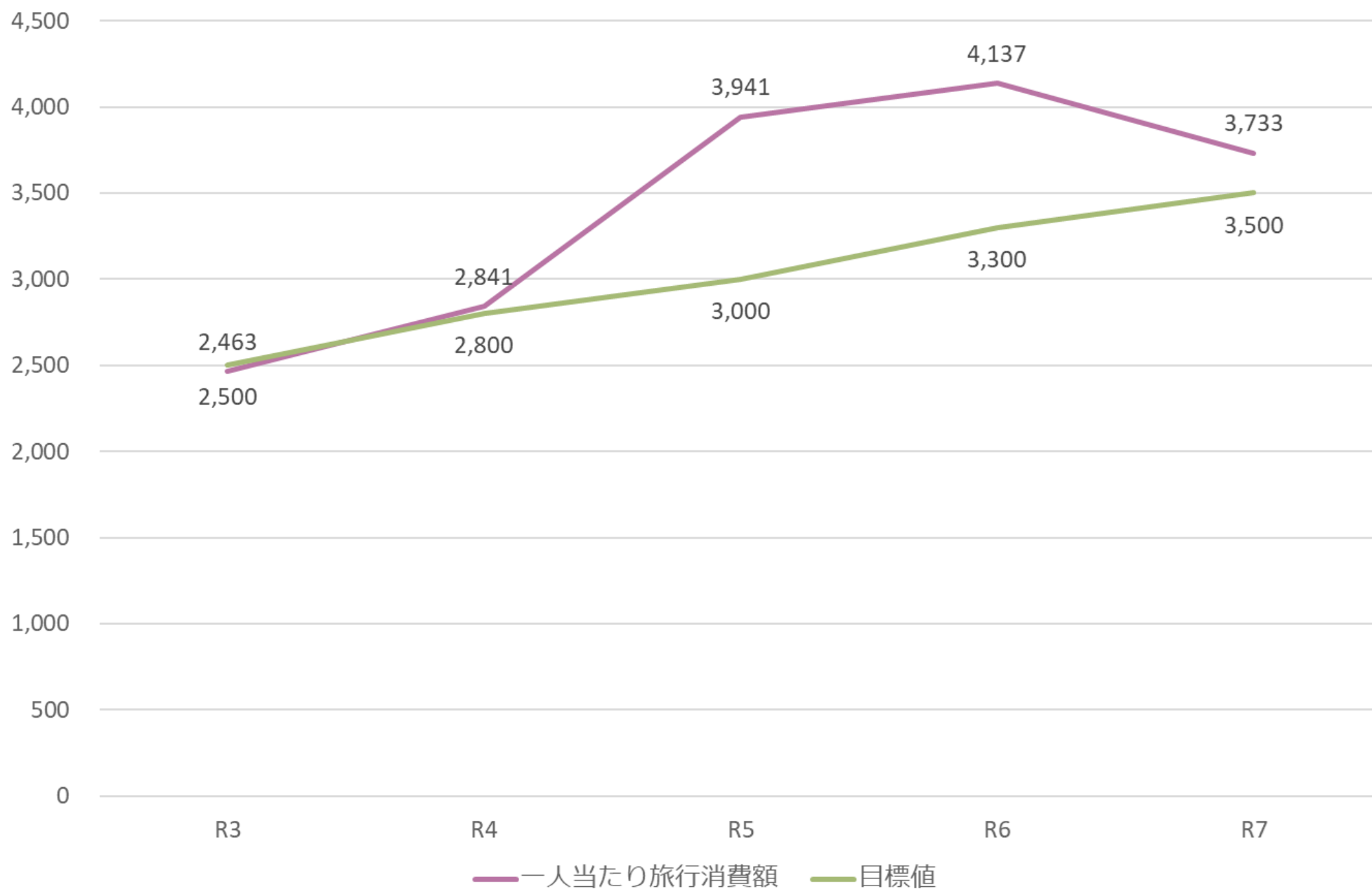


来訪者との交流や地域の魅力再発見が、私たちの心身を豊かにし、それが巡り巡って地域の「稼ぐ力」になります。

明和町年間観光入込客数の推移



一人当たり旅行消費額の推移



未来の明和町を創るための「4つの柱」

戦略の全体像



①インバウンド戦略「斎宮リジェネラティブ・リトリート」

地域の価値を深く理解してくれる、特別なゲストを世界から迎える

戦略① インバウンド戦略（斎宮リジェネラティブ・リトリート）

大量消費型の観光ではありません。斎宮の歴史や自然に共鳴する方々に向けた「心身を癒やし、明和の自然と繋がり直す体験（リトリート）」を提供します。



高付加価値プログラム

斎王の祈りと暮らしに触れる体験、
天津菅麻を用いた伝統文化×ウェル
ネス、自然との共生体験。



ターゲット市場

フランス（歴史・文化）、台湾（精神
性・癒やし）、欧米豪（本物志向・サ
ステナビリティに関心のある層）。



丁寧なおもてなし

多言語対応可能な専門ガイドの育成
と、質の高いアテンド体制の整備。

②国内戦略・エリア開発「伊勢街道エリアマネジメント」

空き家を活かし、歩いて楽しい「祈りの道」を創る

戦略② 国内戦略・エリア開発（伊勢街道エリアマネジメント）



町全体を一つの宿に見立て、
丁寧な暮らしに関心のある方々が
ゆっくり滞在・回遊する仕組みを創ります。

分散型古民家改修

点在する空き家を、独自のテーマ（麻の部屋、斎王の書斎など）を持たせた高品質な宿泊施設や飲食・工房へ。

ウォーカブルな街並み

歩行者空間の確保、景観整備、休憩スペースの設置を通じた、歩いて心地よい環境づくり。

持続可能なエリア運営

住民・事業者・行政が一体となったエリアマネジメント組織の設立と、観光まちづくりファンド等の活用。

③地域共創戦略「住民が主役となるプラットフォーム」

住民の皆さんが主役となる「共創プラットフォーム」

戦略③ 地域共創戦略（めいわサステナブル共創プラットフォーム）

観光による経済的・社会的便益を確実に地域へ還元し、
皆さんの幸福度や誇りを向上させるための協働基盤を運営します。



共に創る場

新商品開発やアートイベントなど、住民と専門家が連携するワークショップの開催。

人材育成

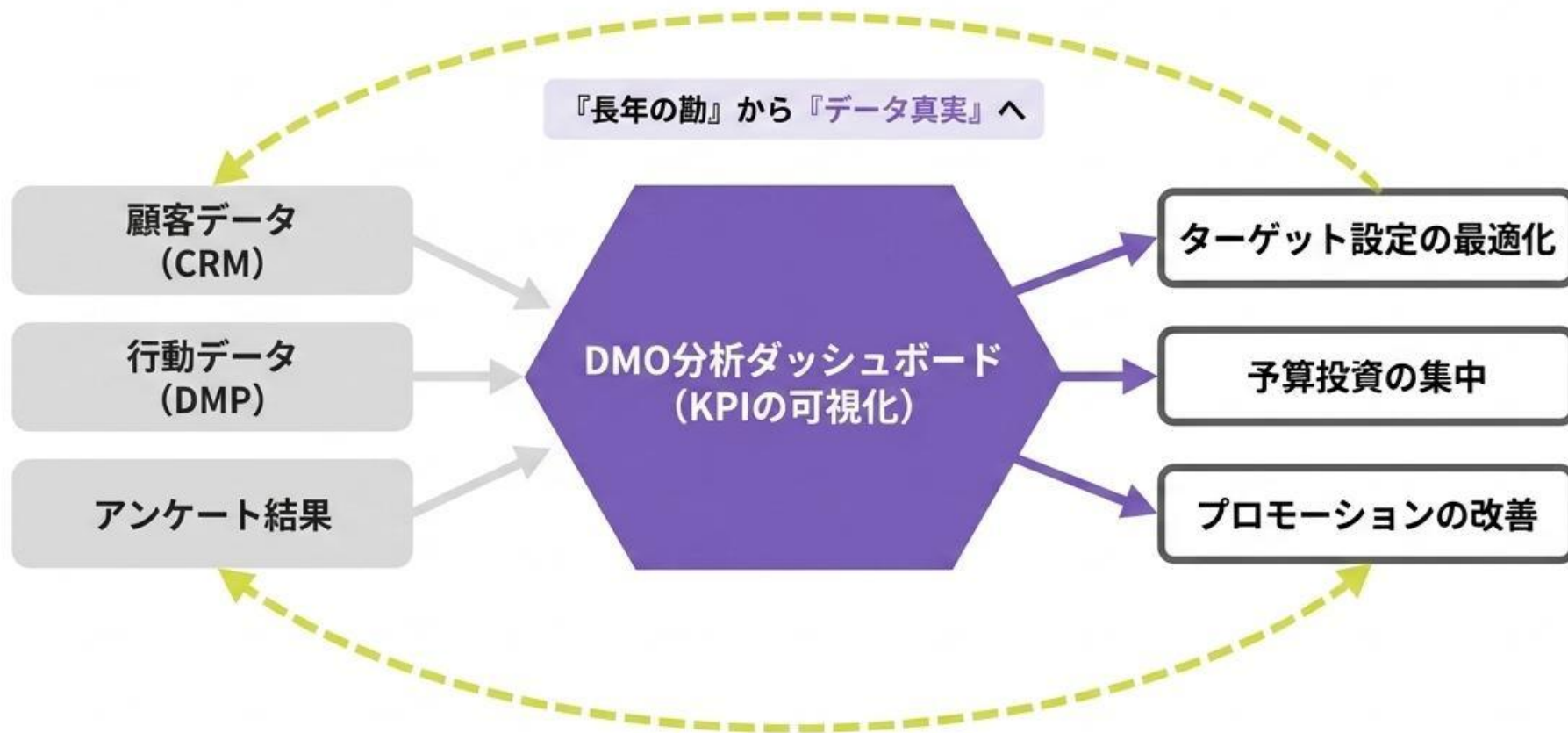
多様化するニーズに応える「地域ガイド」の育成と、小中学校と連携した「ふるさと学習」の推進。

幸福度の見える化

定期的な「住民QOL（生活の質）調査」を実施し、観光がもたらす効果を共有・改善に活かします。

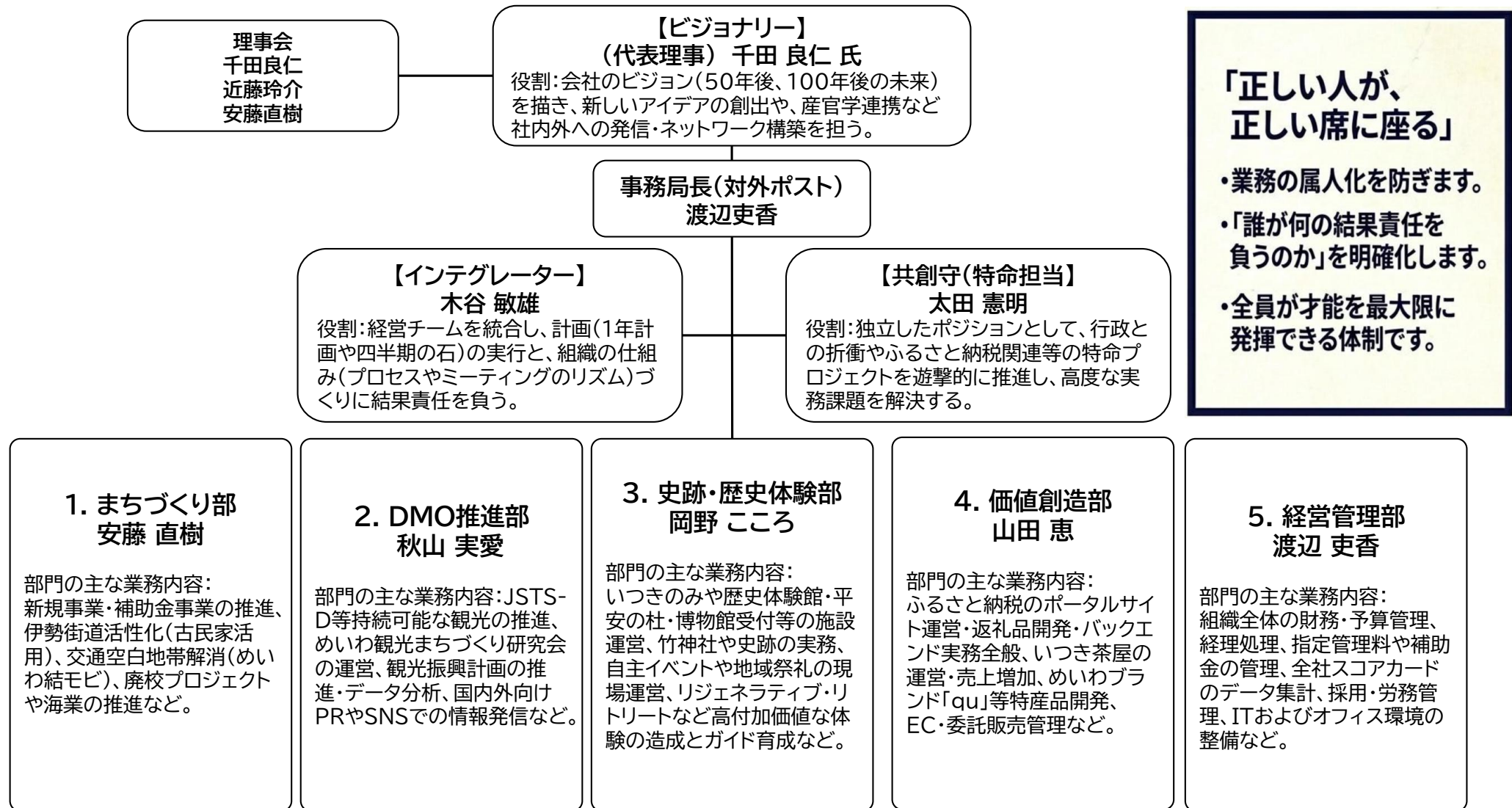
④DMO経営戦略「データ駆動型マネジメントの確立」

戦略④：CRMとデータ駆動型マネジメント（PDCA）による、無駄のない観光地経営



デジタル技術とデータを活用することで、投資対効果の高い、無駄のない持続可能な観光地経営を実現します。

組織体制



適材適所の「正しい席に、正しい人が座る」組織体制により、令和8年度の必達目標に挑みます。

齋宮跡のさらなる魅力化と祝祭空間の創出

重点PJ①：齋宮跡の歴史文化資源を体験コンテンツ化し、「未来の価値」を創出



歴史文化資源のただの「保存」ではなく、体験コンテンツや新産業の創出により「未来の価値」へと転換します

伊勢街道エリアリノベーション

重点PJ②：テーマ別の古民家改修（S邸・H邸・O邸）で、街道の滞在価値を劇的に高める



S邸

宿泊・飲食拠点

- 地産地消を楽しむ
ガストロノミー拠点



H邸

交流・体験スペース

- 地域住民と来訪者が
交わる文化体験拠点



O邸

宿泊・リトリート拠点

- 斎宮の静寂を味わう
プライベート空間

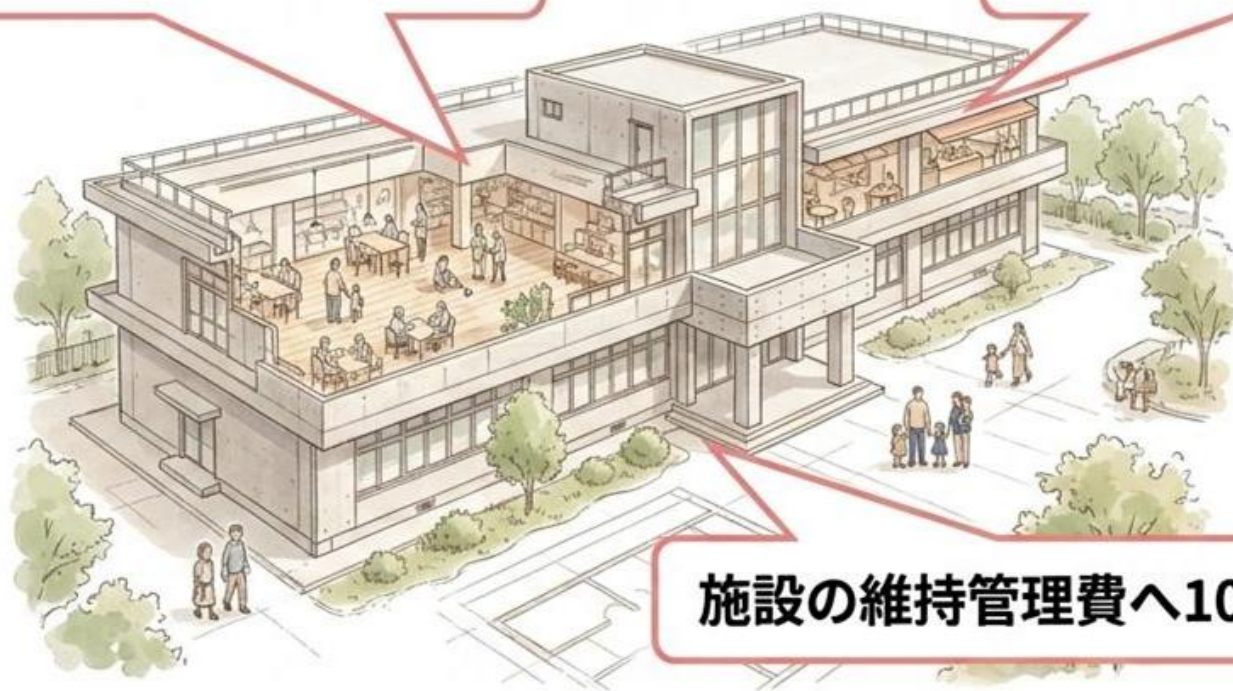
個性的な3つの滞在・交流拠点の完成により、伊勢街道の回遊性と滞在価値を劇的に高めます

下御糸小学校跡地活用(みーとBASE)と地域還元

重点PJ③：下御糸小学校跡地「みーとBASE」を多世代交流と地域還元100%の拠点へ

多世代交流・ウェルビーイング施設

民間ビジネスの収益



施設の維持管理費へ100%充当

民間のビジネスで安定した維持管理費を賄うことで、町の税金を一切使うことなく、
地元の雇用と地産地消を創出し続けます

地域交通DX(めいわ結モビ・住民ライドシェア)

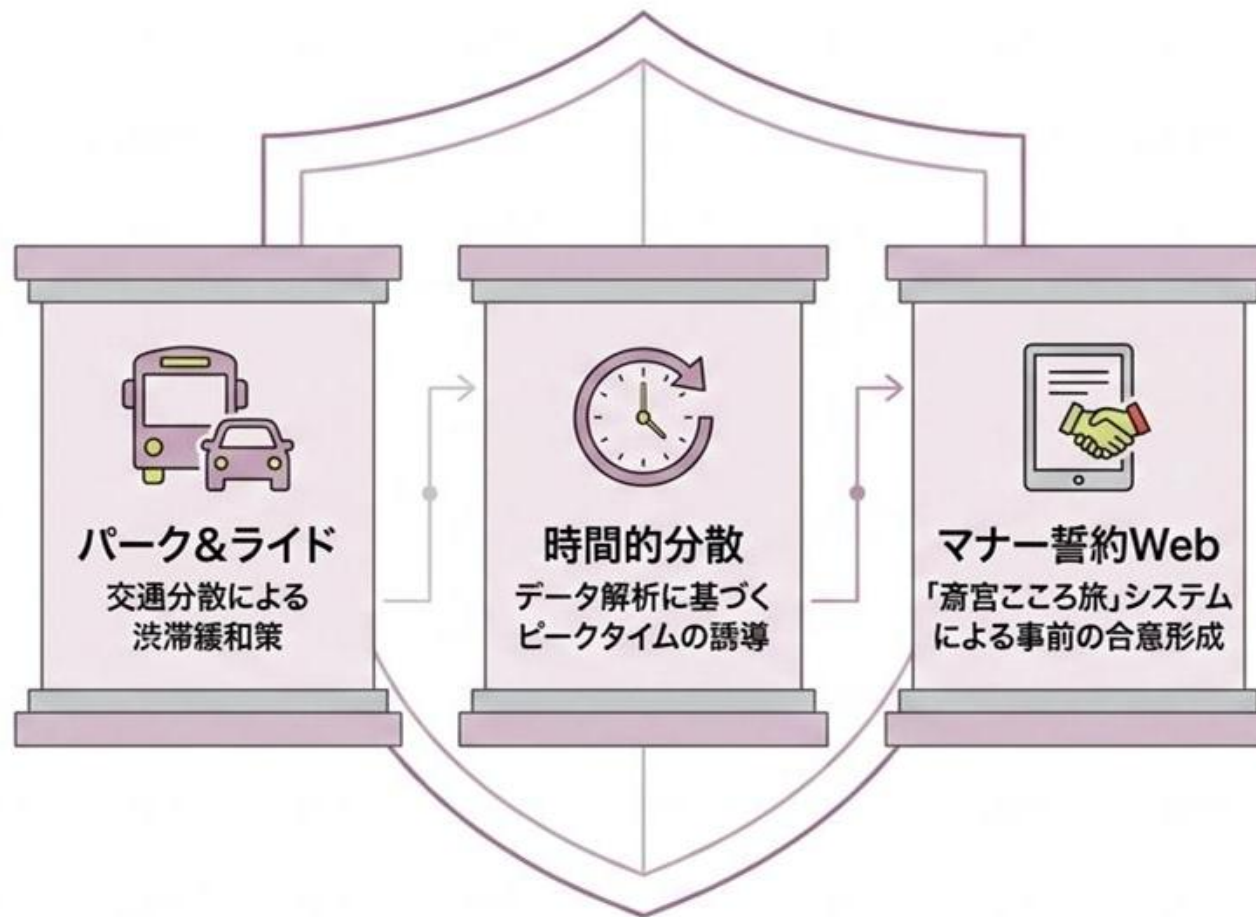
重点PJ④：AIオンデマンドと住民ドライバーを融合した、次世代の「共助交通」DX



プロの管理技術と住民の助け合いを融合させ、住民自身が移動の主役となる持続可能な「共助交通」を築きます

オーバーツーリズムの未然防止事業(スマート分散とマナー啓発)

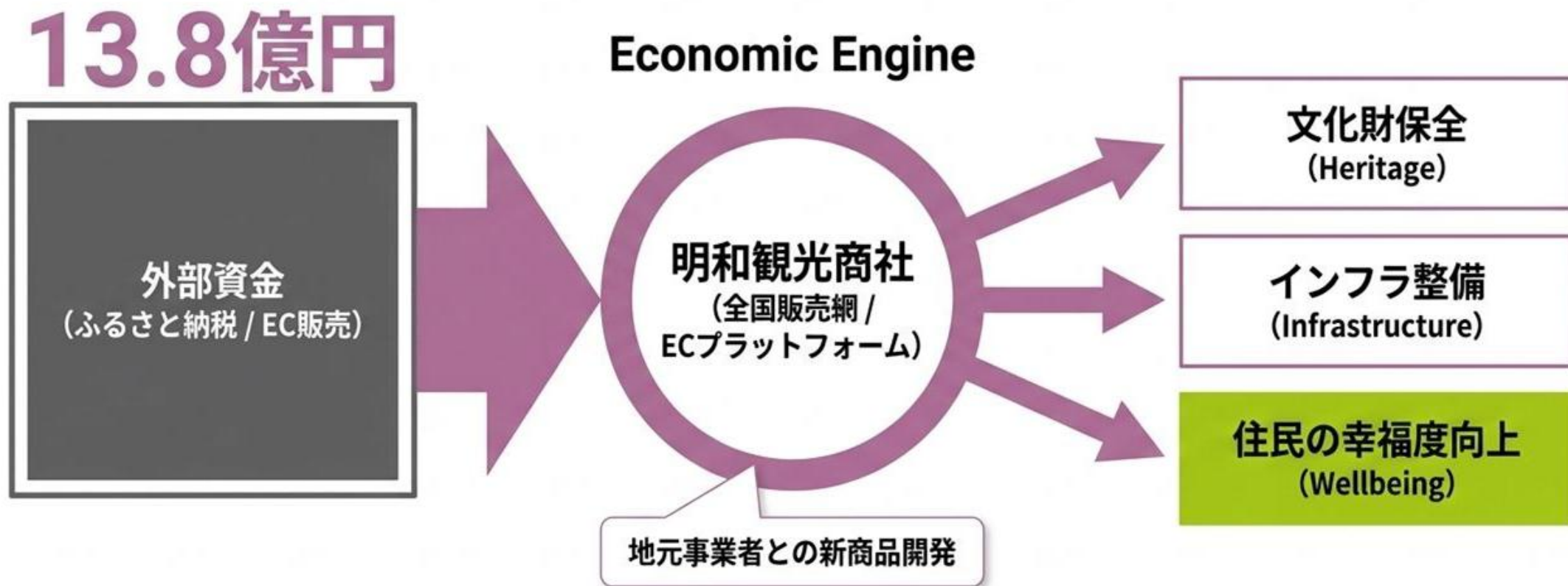
重点PJ⑤: データ解析とマナー啓発「斎宮こころ旅」で、混雑とトラブルを未然に防ぐ



先進的なデータ解析とマナー啓発により、混雑やトラブルを未然に防ぎ、「住んで良し、訪れて良し」を極めます

ふるさと納税、新商品開発による価値創造

重点PJ⑥：13.8億円の寄付実績を土台に、地元事業者と共に返礼品開発を加速させる



商社は強力な全国販売網を用意しました。皆様が作った自慢の商品やサービスを全国へ届けて、地域経済を循環させましょう

3、各部からの報告

価値創造部

明和町ふるさと納税 令和7年度実績



- ・寄附額:1,058,356,300円
(前年比-23.4%)
- ・寄附件数 42,698件
- ・登録事業者数:95社
(新規事業者数:12社)
- ・登録返礼品数:425品 2026/7/10時点
(新規返礼品数:183品)



- ・資産の構築 :
「明和町特設サイト」の開設

Instagramの運用実績
フォロワー数 5,508→7,164



(全国的な2大要因)

- 1.ポイント付与禁止の影響:10月以降、全国的に市場が一時冷え込み
- 2.生活防衛型へのシフト:高級品から日用品へ需要がシフト

(明和町の要因)

- 3.一番人気である「お米」の全国的な品薄・高騰による早期受付終了



令和 7 年度実績

1 特設サイトの開設



2 ふるさとeチケット 現地決済スタート



3 ふるさと納税 地域商社会への入会



ふるさと納税
地域商社会
LOCAL CREATIVITY



4 イベント出店 (斎王まつり・ふるなびマルシェ・まちのたね)



5 あとから セレクト

あとからセレクト
ふるさとギフト

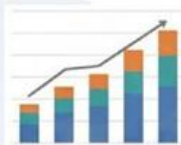


令和8年度目標

1



着実な規模拡大



- ・寄付額14億円以上を目標とし、前年実績を上回る。
- ・返礼品600件以上を目標。

2



信頼の可視化



- ・1商品につき10件以上のレビュー獲得を目標。
- ・高評価（4.5以上）を維持する。

3



運営のスマート化



- ・返礼品ページの充実や案内文の改善により、寄付1,000件あたりの問い合わせ数を20%削減。

4



特設サイトの「登録者数・寄付額」の増加



2026年10月 ふるさと納税制度の改正『募集経費の段階的引き下げ』

現在（～2026年9月）

自治体の経費上限

50.0%以下

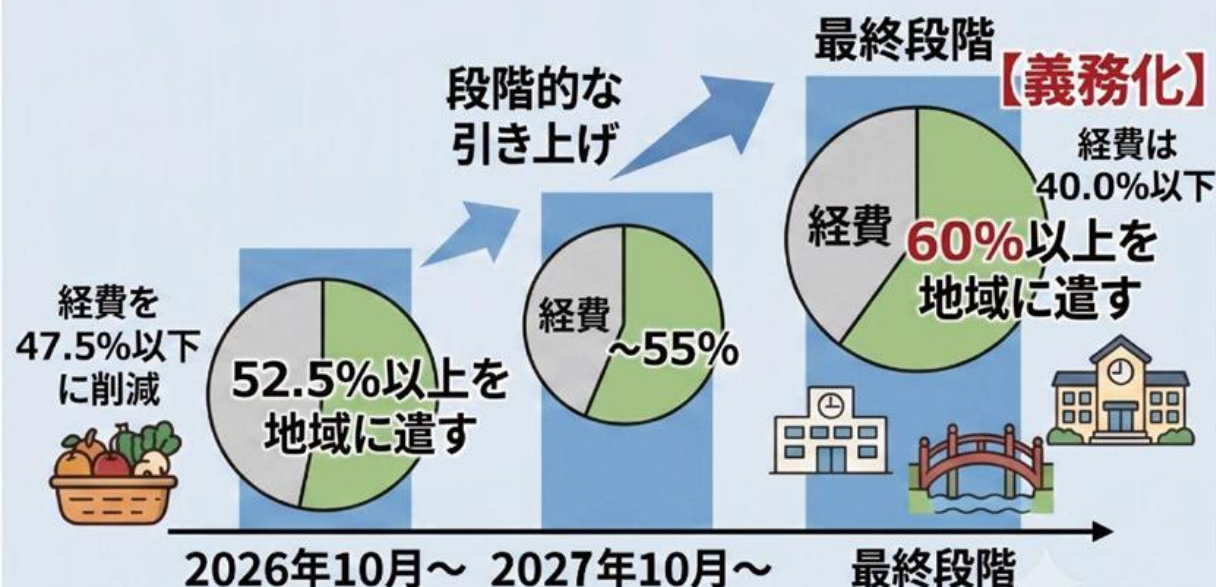


寄付金の50%を地域活動に活用
(寄付額の半分)



改正後（2026年10月～）

【変更内容】段階的な地域活用率の引き上げ



自治体が集めた寄付金のうち、「地域の事業に活用すべき割合」を段階的に引き上げ。最終的に60%以上が義務化。

2026年10月 ふるさと納税制度の改正

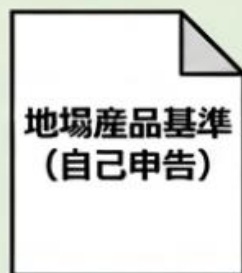
『地場産品基準の厳格化と、3号証明書の収集義務化』

現在（～2026年9月）

基準が比較的緩やか



地場産品



事業者の自己申告が中心



改正後（2026年10月～）



【厳格化】地場産品基準の厳格適用



【義務化】
加工品は付加価値
計算書(3号)
の提出が必須



確認・保存・公表

今年度の重点取組①

- ・10月制度改正への確実な対応
(3号証明書の収集、寄附額見直し、10月以降ページ刷新)

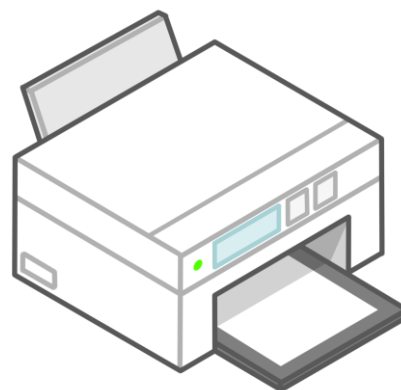


- ・個人情報セキュリティの徹底

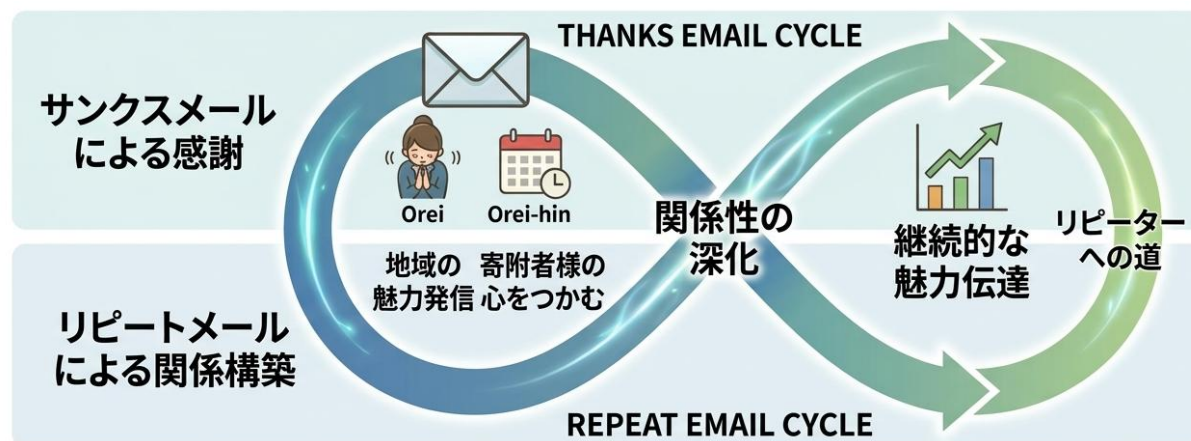


今年度の重点取組②

- ・新規ジャンルの開拓(お米・お肉以外への拡大)



- ・関係性の深化
(サンクスメール・
リピートメールの戦略的活用)



～ 日々の積み重ねを、明和町の持続可能な未来へ ～

明和町ふるさと納税スタッフ紹介



山田 恵（統括リーダー）

チームの潤滑油でサッカーの戦術を考えるのが好き。
動物占いはチーターです



井上 薫（センター長）

元明和町地域おこし協力隊
兵庫県出身
一味違った感性の持ち主



吉井 真子

双子の子育てに奮闘中
極限まで空腹に絶えて、
デザインを制作中…。



江川 圭子

元市役所職員
クロスワードとナンプレで
頭を鍛えてます。



田上 千代美

絶賛、ぎっくり腰
扇風機は毎日3台持ち
歩いてます。



柳沢 孝代

愛知県出身
見た目はふんわり。
センター1の握力の持ち主

私たちの強みは、事業所様との関係づくりを継続できていることです。

今年度も事業所様の元へこまめに足を運び、より強固な協力体制を構築していきます！

3、各部からの報告

DMO推進部

DMO推進部 4つの取り組みと今年度の方向性

明和観光商社のDMO基盤を支え、地域資源の磨き上げと販売、そしてオーバーツーリズムの未然防止まで、
地域全体の観光地域づくりの土台を横断的に推進します。

1 DMO推進



- DMO新ガイドライン対応
- 観光庁への年度報告・事業計画策定
- KPIデータ取得体制の構築
- 2029年登録更新に向けた基盤整備
- 日本遺産戦略企画部会の運営

2 地域共創



- 町民向けウェルネスプログラム
- 子ども向けプログラム（学校連携）
- めいわ観光まちづくり研究会
- 竹神社活性化・神社連携

3 観光コンテンツ



- インバウンド向け観光コンテンツの
造成・磨き上げ・受入体制構築
- 英語スタッフ・ガイド育成
- 観光コンテンツの販売・
プロモーション実施
- レンタサイクル貸し出し

4 オーバーツーリズム 未然防止



- 交通・受入体制の整備
- 需要の最適化
- マナー啓発・情報発信
- 住民との共創・受入意識の向上



連携・共創

官民・地域の力をつなぐ



地域資源の価値向上

磨き上げて、魅力を届ける



持続可能な観光地域づくり

経済・社会・環境の好循環をつくる



住民と観光客の共生

心地よい地域を未来へ

メンバー: 秋山実愛 直江駿介 澤村とし子 岡野こころ

①DMO推進

KGI・KPIの達成状況とデータ整備

地域の目標と成果を共有するため、観光庁へ提出した登録更新資料に基づき、主要なKGI・KPIの実績と目標を公表します。

区分・指標		R6（2024年） 実績	R7（2025年） 目標	R7（2025年） 実績	評価	R8（2026年） 目標
KGI	旅行消費額	14.7億円	—	12.3億円	前年比減	15.0億円
KPI	一人当たり旅行消費額	4,137円	3,500円	3,733円	達成	4,000円
KPI	延べ宿泊者数	35,649人	41,000人	約29,000人	未達	41,000人
KPI	来訪者満足度	89%	80%	93%	達成	93%
KPI	住民満足度	約27%	80%	約26%	未達	30%
KPI	リピーター率	61%	40%	30%	要検証	40%
KPI②	環境・文化保全に資する コンテンツ売上	14万円	—	512万円	大幅増	600万円

※数値は観光庁提出資料と同じ内容を、一般向けに丸めて表示しています。R6・R7は暦年です。
※旅行消費額は地域全体のKGI。住民満足度・リピーター率は調査対象や回収場所の変更があるため、単純な経年比較には注意が必要です。

①DMO推進

達成状況の評価と今後の対応

令和7年は満足度と消費単価で目標を上回りました。一方、地域全体の旅行消費額と宿泊者数は減少しており、満足度を滞在・消費・再訪へつなげる取組が課題です。

確認できた成果

- ・一人当たり旅行消費額は3,733円で、目標3,500円を達成
- ・来訪者満足度は93%で、目標80%を上回った
- ・環境・文化保全に資するコンテンツ売上は512万円となり、前年の14万円から大幅に増加

残る課題

- ・旅行消費額は14.7億円から12.3億円へ減少
- ・延べ宿泊者数は35,649人から約29,000人へ減少
- ・施設の一時休館、観月会の雨天、宿泊・二次交通・広域連携の不足が滞在と消費の伸びを抑えた

比較上の注意

住民満足度とリピーター率は、アンケートの回収場所や対象者を広げた影響を受けています。過年度との単純比較ではなく、令和8年以降の調査設計を統一したうえで継続的に確認します。

令和8年の対応

1 計測方法をそろえる

来訪者アンケートと住民アンケートの設問・回収方法を整理し、年間を通じて比較できるデータを蓄積します。

2 滞在と消費につなげる

宿泊・食・体験を組み合わせた高付加価値商品の造成と、伊勢方面との広域連携を進めます。

3 地域で分析し、改善する

戦略企画部会等でKGI・KPIを共有し、達成状況と要因を確認して、次年度の事業・観光地経営戦略へ反映します。

4 地域へ公表する

会議資料や成果の概要をウェブサイト等で公表し、住民・事業者と観光地域づくりの現在地を共有します。

②地域共創

住民とともに観光地域づくりを進める、取り組み

♥ 町民向けウェルネスプログラム

健康づくりをきっかけに、町民が観光資源に親しむを持つ機会を創出する取り組み。

- 健康体操教室
- 山登りプログラム
- 季節のお菓子、健康料理教室

参考：令和7年度実績
参加者のべ人数

753



🎓 子ども向けプログラム（学校連携）

学校や地域と連携し、次世代が地域の魅力を学び、誇りを育む機会づくり。

- 鎮守の森楽社
- 自然体験活動
- 明和中学校ふるさと体験学習



👤 めいわ観光まちづくり研究会

住民が地域の課題などを学び合う研究会を継続開催し、まちづくりを通じて、明和町への誇りを醸成する

参考：令和7年度実績

4回開催・延べ75名参加（次世代のQOLを良くするための財政の考え方／地域でつくる子育ての環境づくり／レスポンシブルツーリズムとは／ボランティア団体「ココツナ ～Share Hearts～」の活動とは）



🏯 竹神社活性化・神社連携

令和8年度の取り組み

- 神社ラリー企画をはじめとする町内神社との連携強化
- SNSなどによる継続的な情報発信
- 満月の日の竹神社周辺の賑わいづくり

参考：令和7年度実績

参拝者数（お賽銭指数）

+11.1%



③観光コンテンツ 地域資源の活用と人材育成

地域資源を活かした観光コンテンツを造成し、インバウンド対応を進めながら、今年度は特に「販売強化」と「ガイド育成」に力を入れています。

令和8年度取り組み

- インバウンド向けコンテンツの造成・磨き上げ
既存の体験プログラムを多言語対応・高付加価値化し、受入体制を整備
- 英語スタッフ・ガイド育成
現場対応できるガイド人材を育成し、外国人観光客への案内品質を向上
- 観光コンテンツの販売・プロモーション
宿泊施設・旅行代理店等への商談を進め、販路を拡大
- レンタサイクル貸し出し
町内周遊の足を確保し、滞在時間・周遊範囲を拡大
- インバウンド受入体制構築
案内表示・決済等のインバウンド対応環境を整備

参考：令和7年度実績

□ 観光コンテンツ体験人数

99人

□ 観光庁 サステナブルな旅アワード受賞

「一日氏子」体験～神様と地域を支える一員になる特別な一日～

革新する和紙を使った伝統工芸 伊勢志摩擬革紙クラフト体験



第3回 サステナブルな旅アワード（観光庁主催）特別賞 コンテンツが志摩のラグジュアリーホテルでの提供開始。

「一日氏子」体験

竹神社での清掃奉仕を高付加価値な観光体験へ転換



伊勢志摩擬革紙クラフト体験

職人が宿泊先へ赴く出張型クラフト体験



④オーバーツーリズム未然防止 持続可能な観光地域づくり

全国的に観光地の混雑やマナーに関する課題が広がる中、明和町では問題が表面化するのを防ぐ「未然防止」に取り組みます

斎宮という場の価値を守りながら、旅行者自身が地域や環境に貢献し、住民と共に地域の価値を高めていく「レスポンシブル・ツーリズム（責任ある観光）」の考え方を基本方針とし、交通・需要・情報発信・住民共創の4つの柱で今年度も取り組みを進めます。

1 交通・受入体制の整備



- ・ 外縁臨時駐車場からのパーク&ライド・シャトルバス実証運行
- ・ AIカメラによる混雑の可視化・分散誘導
- ・ スマートゲートによる入場制限の実証
- ・ 今年度は三施策を連動させ一体パッケージ化

参考：令和7年度実績 混雑 **28.3%削減**

2 需要の最適化



- ・ 十二単等の高付加価値体験の多言語オンライン予約導入
- ・ 予約状況に応じたダイナミックプライシングの実証
- ・ 朝御・ナイトウォークなど早朝・夜間コンテンツの造成
- ・ 日帰り型から滞在型観光への転換を促進

参考：令和7年度実績 平日予約率 **+16%**

3 マナー啓発・情報発信



- ・ 「斎宮プロミス」ピクトグラムを用いた多言語サイネージ・啓発看板の実装
- ・ マイバッグ配布等によるマナー啓発グッズの展開
- ・ 「斎宮ここ旅」旅マエ・旅ナカ・旅アトをつなぐWebアプリ運用
- ・ ARクイズ・デジタルクーポンで地域店舗へ周遊送客

参考：令和7年度実績 マナー理解度 **4.0点**

4 住民との共創・受入意識の向上



- ・ 「斎宮ウェルカムシップ」住民おもてなしクルーの組織化
- ・ 挨拶運動など地域一体のマナー誘導活動
- ・ 住民参加型プログラム・地産業体験の立ち上げ支援
- ・ 手ぶら観光を支える多機能ロッカー・広域配送網の整備

参考：令和7年度実績 おもてなし研修受講 **42名**

3、各部からの報告

史跡・歴史体験部

史跡・歴史体験部

史跡・歴史体験部の主な取り組み

■ 指定管理施設

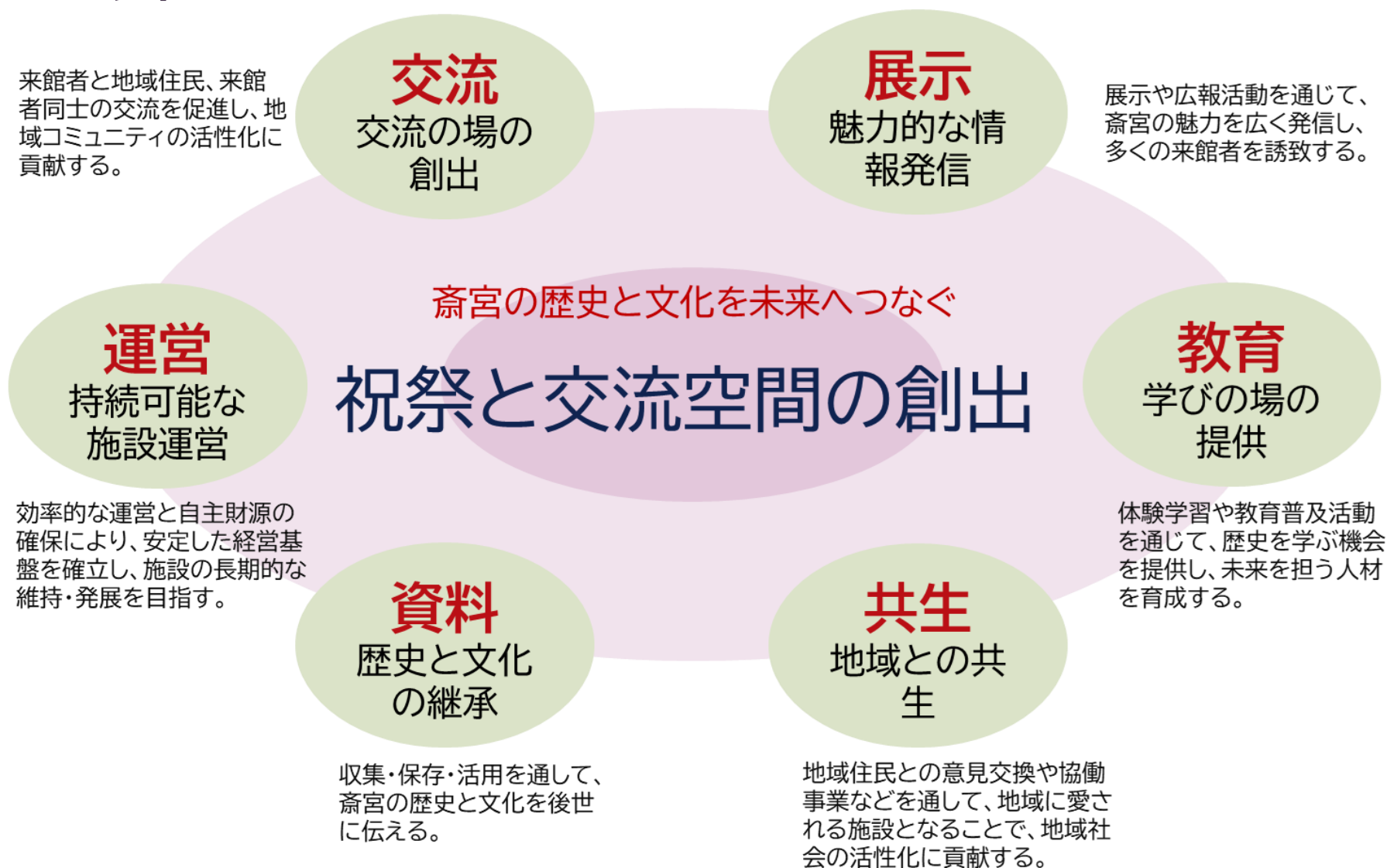
- ・いつきのみや歴史体験館(斎宮跡1/10史跡全体模型、さいくう平安の杜)
(スタッフ:中西(リーダー)・齋藤・平瀬・派・加本)
- ・いつき茶屋
(スタッフ:前田(リーダー)・鵜木・下村・中西)
- ・斎宮歴史博物館受付・インフォメーション
(スタッフ:小倉・佐々木・加藤・中嶋・大嶋)
- ・公有地管理
(スタッフ:中野(リーダー)・谷口・宇田・西森・社会福祉協議会)

■ 管理運営期間

2025年4月1日から2028年3月31日(3年間) ▶現在2年目

史跡や指定管理施設の維持管理と歴史文化資源の保全
体験プログラムや自主イベントによる斎宮の魅力発信
来訪者へのおもてなしと地域交流の創出

事業コンセプト



体験館・平安の杜・いつき茶屋・博物館＋地域の関係機関・関係者の皆さんと連携しながら事業を展開

令和7年度 事業報告

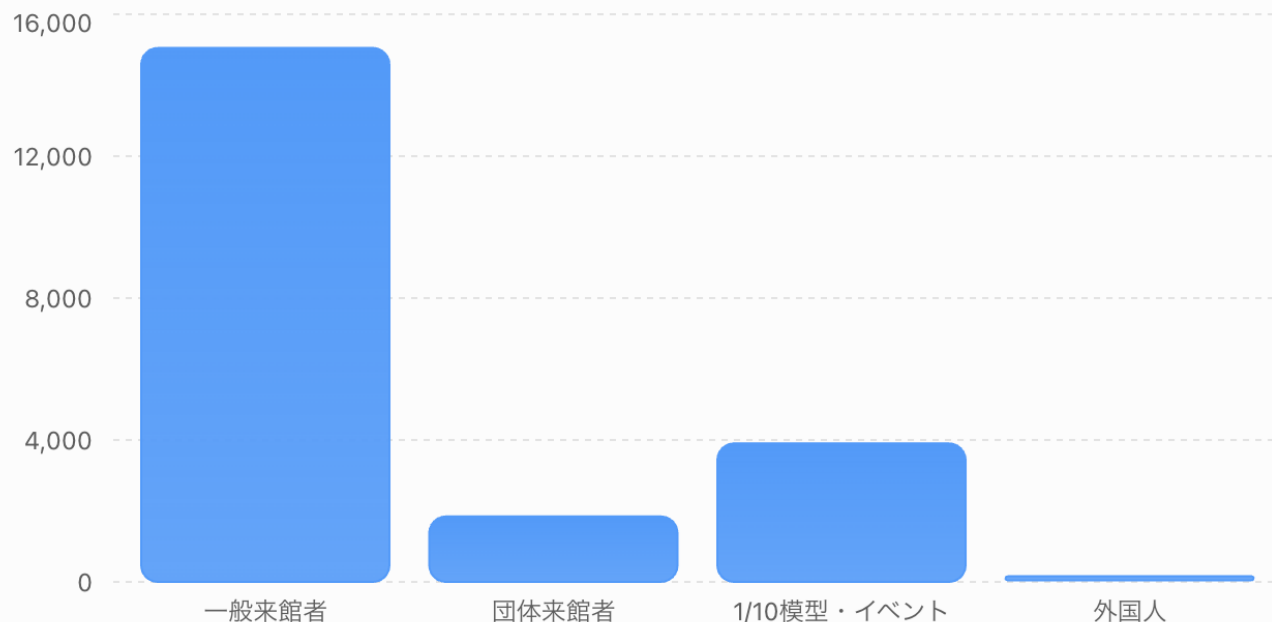
【いつきのみや歴史体験館】

年間来館者数:23,796人(累計計来館者数:708,289人(70万人突破))

・個人来館者・体験参加者が増加

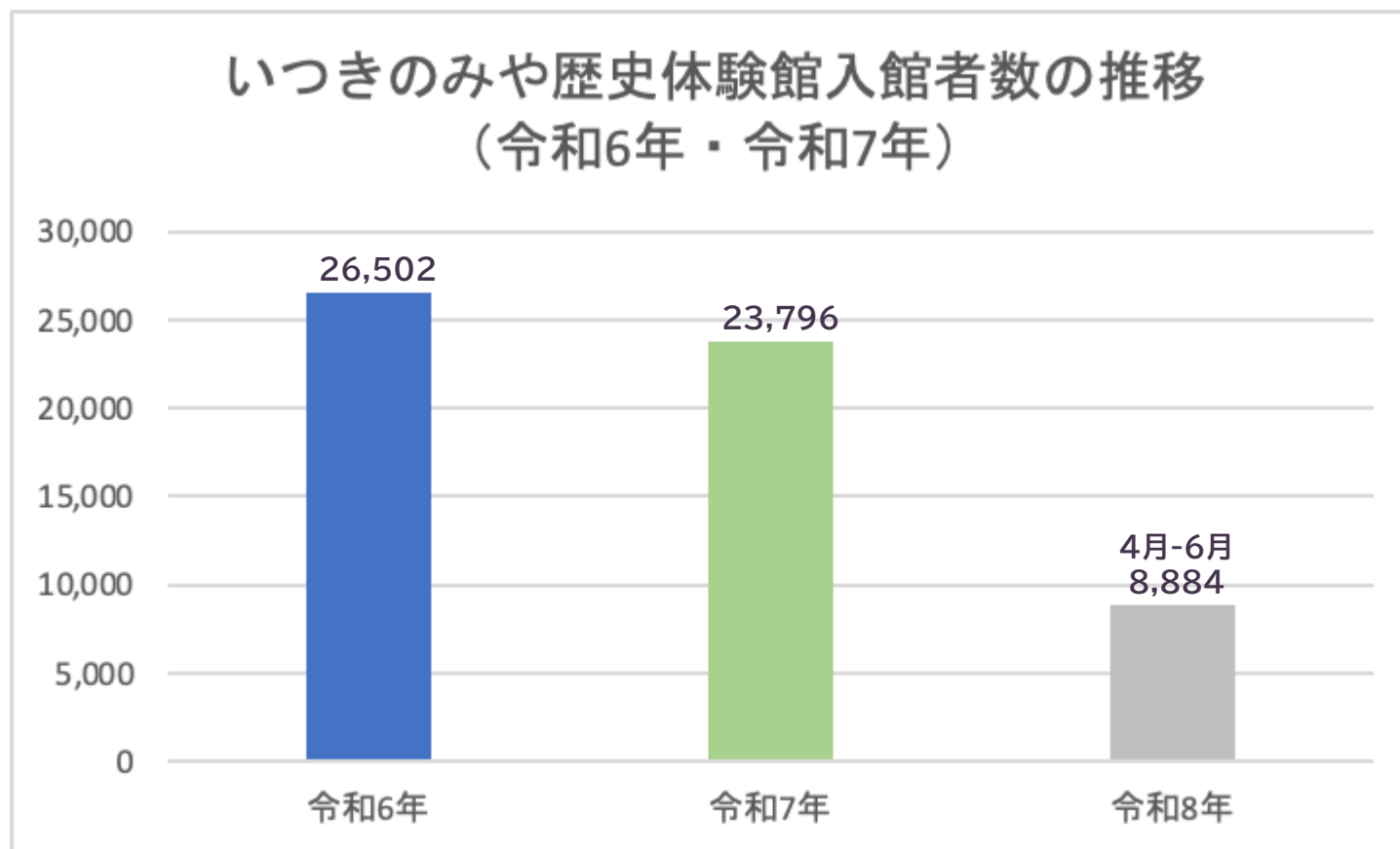
令和7年度 来館者構成

年間来館者23,796人の内訳



- 斎宮ならではの
- 体験型コンテンツ
- 教育旅行や学校利用との親和性
- 体験を通じた歴史文化の継承
- 交流人口の増加

いつきのみや歴史体験館入館者数の推移



●令和6年度より△2,706

●前半体験未実施

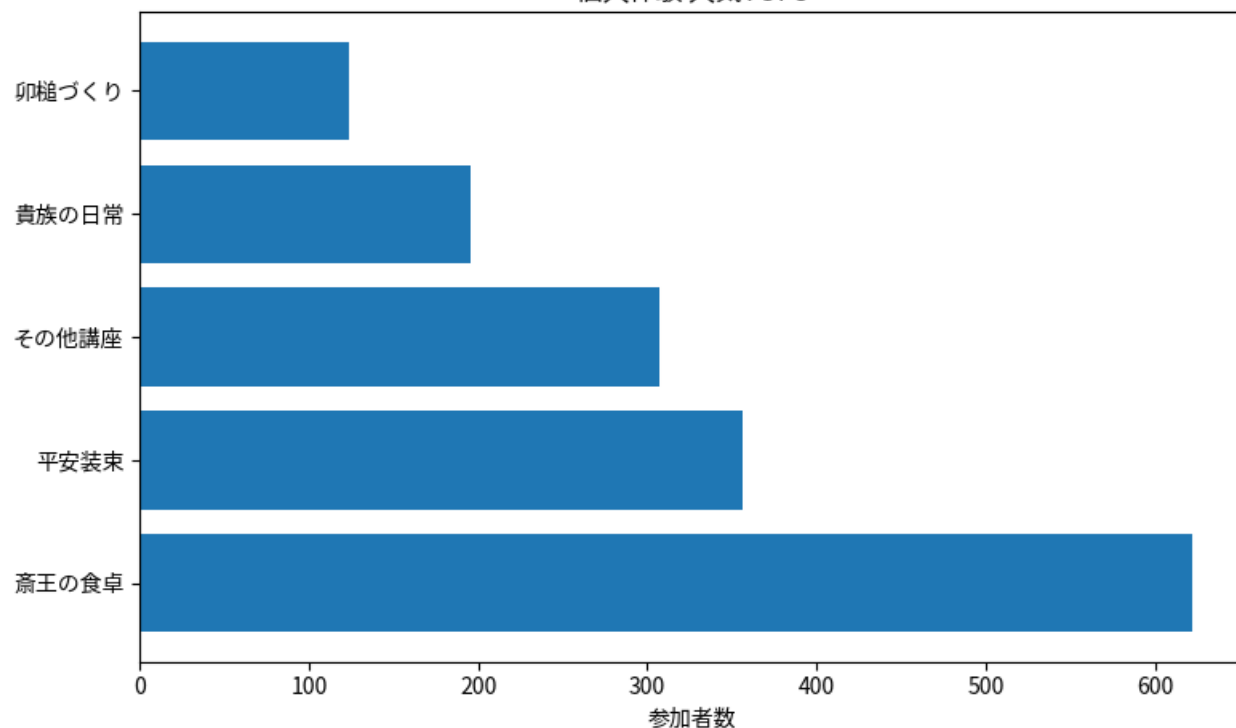
●観月会雨天

体験事業参加者

- 体験・講座参加者数は**大幅増加**
- 特に人気を集めたのは、**斎王の食卓体験(斎王の宝箱)・平安装束**
- 学校団体は、火おこし体験や糸づくりが人気

人気体験プログラム TOP5

個人体験 人気TOP5



● 斎王の宝箱を体験館で、食卓体験として、解説等を充実

● 平安装束体験の受入れを強化

● 講座の充実

● 随時体験の柔軟な受入れ

【いつき茶屋】

年間利用者22,347人

- 地域食材を活用した飲食

齋麺・伊勢うどん・ハンバーグラunchが人気メニュー

齋宮お月見団子やあまづらシロップかき氷など、ここならではのメニュー

- 地元の特産品や農産物を販売

【さいくう平安の杜】

- 史跡景観を活かした観光拠点として、簡易装束体験等を実施

- イベント・撮影利用を促進

令和8年度 主な取り組み目標



歴史・文化

- 十二単体験や平安遊び、平安文化体験の充実、明和町ならではの体験メニューの開発
- 子ども向け講座や体験学習の充実



観光・交流人口

- 四季のイベントの開催、広報誌やSNSによる情報発信
- 教育旅行・団体旅行誘客の推進



地域経済

- 地元産品の販売、新たな体験プログラムや商品の開発
- ふるさと納税事業者・地域事業者との連携強化



歴史を未来へ
人をつなぎ、地域を元気に
齋宮の魅力を
明和町の力に！



地域の誇り・学び

- 住民参加型イベント
- 学校や地域団体との協働



▶ 明和町にある様々な「資源」を活かし・広げ・地域の活力につなげる

令和8年度イベントの実施



みんなで楽しいイベント



いつきのみや観月会
9月27日(日)

ろうそくの灯りがともる幻想的な野田宮の中、平安時代の寝殿造をモデルにした建物を背景に、中秋の名月をお楽しみください。



追儼のまつり・節分まつり
1月31日(日)

大晦日の夜に宮中で行なわれた「追儼」を再現します。追儼は現代の節分のもととなった行事です。1年間の目に見えない鬼を追い払い、清々しい新年を迎えましょう。



平安物語
10月17日(土)・3月20日(土)

古代装束、簡易十二単、狩衣はそれぞれ1時間のご利用で、古代衣装・狩衣は外も散策できます。簡易十二単は特別開放する平安の杜正殿で平安貴族体験ができます。



平安の宴
4月18日(土)・8月11日(火・祝)・11月8日(日)・1月31日(日)

季節の四季折々の体験やワークショップ、展示を実施。隣接する「いつき茶屋」では、地元の特産品や森王の食事を再現した「森王の宝箱」などの食事も堪能できます。

- いつきのみや観月会
9月27日
- 追儼のまつり・節分まつり
1月31日
- 斎宮ならではのイベント
- 四季折々のイベント
- 館内展示の充実

3、各部からの報告

まちづくり部

まちづくり部— 5つの取り組み

明和町にある様々な「資源」を 活かし・広げ・地域の活力につなげる

1

空き家再生

伊勢街道プロジェクト

古民家を民泊・飲食に再生し「神宮ゲートウェイ」を構築

2

地域交通

めいわ結モビ

夜間の交通空白を住民×タクシーのハイブリッド運行で解消

3

旧下御糸小学校活用

みーとBASE

廃校を多世代交流型のウェルビーイング拠点へ再生

4

天津菅麻プロジェクト

麻の聖地の創出

伊勢麻の産業化と伝統継承で「麻の聖地」を目指す

5

海業

下御糸漁港の活性化

漁港を核に賑わいを創出し漁業・水産産業を活性化

まちづくり部 ① 空き家再生 — 伊勢街道プロジェクト

歴史を現代の体験価値へ。伊勢街道を「100年先まで人が集い続ける道」に育てる。

プロジェクト概要

・対象：伊勢街道沿い4施設

①明和町竹川／築120年の古民家（旧立場茶屋）

・母屋 → 古民家民泊、離れ → 飲食店として再生

②明和町仲町／竹神社横の古民家

・飲食店として再生（民泊も検討中）

③明和町明星／築90年の古民家（利右衛門）

古民家民泊として再生

地元工務店・棟梁の技術 × 建築家デザインによる
和モダン空間へ改修

神宮ゲートウェイ構想 斎宮→外宮→内宮を結ぶ
新しいお伊勢参りの起点として、参宮者を迎える「
神宮の玄関口」を復活。

令和8年度取り組み

・空き家再生における、ファンド・クラウドファンディングを活用した資金調達の仕組みづくり

・改修した古民家民泊・飲食店の開業準備および本格運営を開始

・明和町内（特に伊勢街道沿い）における空き家・古民家の掘り起こしと次物件の候補選定

・所有者・地域住民との対話による空き家活用ネットワークの構築

TOPIC 8/1（土）10:00–16:00 完成見学会を開催（明和町竹川・立場茶屋）

古民家民泊リノベーション

完成見学会

多気郡明和町竹川

8/1 (土) 10:00~16:00

(一社) 明和観光商社

築120年の趣を活かして、
美しさと安心を備えた和モダン空間へ



古民家民泊リノベーション 完成見学会

多気郡明和町

6/20 (土)・21 (日)

株式会社 明和工務店

築90年の趣を活かして、
美しさと安心を備えた和モダン空間へ



伊勢街道沿い《立場茶屋》に古民家民泊が誕生予定

築120年の趣のある古民家を私たちの技術と建築家のデザインで民泊にリノベーション。

ご自宅のリノベーションをお考えの方にも参考にしていただける見学会を開催します。

会場マップ



駐車場のご案内

駐車台数：10台

近鉄踏切そば

(太陽光パネルが目印)



スマホで地図を開く

01

地元の大工の棟梁ならではの目利きと心づかいで、住まいの記憶を受け継ぎながら、確かな技術で新たな低値を。

02

美しいデザインで気持ちよく快適に暮らせる空間づくりを目指しています。

03

お客様の思いを十分にお聴きし、さらに一歩進んだアイデアで豊かな暮らし方をご提案。

同時開催 『立場茶屋』 離れも見学いただけます



趣のある『離れ』は飲食店に生まれ変わる予定です



「居室」



「檜浴槽のある浴室」



「寝室」

01

地域の皆さまと共に歩んで60年。
安心と信頼の地域密着型工務店
ならではの心づかいと確かな技術。

02

美しいデザインで気持ちよく
快適に暮らせる空間づくりを
目指しています。

03

お客様の思いを十分にお聴きし、
さらに一歩進んだアイデアで
豊かな暮らし方をご提案。

安心して暮らすための『耐震補強工事』



制震ダンパー

べた基礎



「寝室」



「檜浴槽のある浴室」



明和町産「麻幹」と「土」の床の間

一般社団法人 明和観光商社

〒515-0321 三重県多気郡明和町斎宮3039-2

090-2268-6366 (担当: 安藤)

ando@hana-meiwa.jp

見学に関するお問合せは、担当までご連絡またはメールをお願いします。

※事前予約なしでも館内の見学は可能です

企画・運営：(一社) 明和観光商社

設計・監理：タカセモトヒデ建築設計

すぐそばにある工務店 創業60周年

株式会社 明和工務店

〒515-0315 多気郡明和町斎村760-1

0596-52-0199



こちらからご予約の
方は特典があります

事前予約制の見学会です (10時~16時)

ご予約はこちらからどうぞ

(当日のご予約は現地にて受付します)

企画・運営：(一社) 明和観光商社

設計・監理：タカセモトヒデ建築設計

まちづくり部 ② 地域交通 — めいわ結モビ

「移動できない」を解消。運賃外収益で自走する地域交通MaaSへ。

背景・課題

- ・町営バス・デマンド交通は17:00で運行終了 → 夜間の交通空白が深刻
- ・帰宅・塾送迎・買い物のニーズが夕方～夜間（17～22時）に集中
- ・住民ドライバー（主婦・シニア）の安定シフト確保が課題

令和8年度取り組み

- ・9～10月に本格運行開始（最大6台体制・夜間22時まで）
- ・住民ドライバー × 明和タクシー常勤プロの「ハイブリッド運行」
- ・運賃300円を維持しつつ運賃外収益を確立（マイポート会費・塾見守りサブスク・イオン送客手数料）

月3,000人

延べ利用者数（見込）

15名+

住民ドライバー新規雇用

80%+

夜間交通空白の解消

自立

運賃外で運行費用の自立的回収

自家用有償旅客運送（公共ライドシェア・中三交第4号／運行主体：一般社団法人明和観光商社）

交通空白が生む損失と、地域交通投資の意義

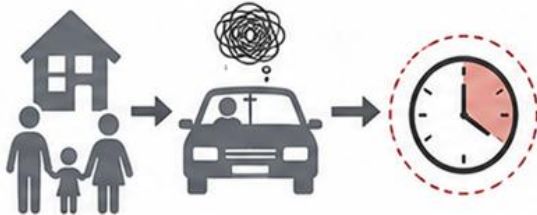
1. 交通空白が生む損失

年間 約**10兆円**規模

経済・社会的損失

最大要因：
家族送迎による労働力損失

家族が送迎に時間を取られ、働けない



働く時間が失われ、地域全体が損失に

2. 移動支援は“投資”

高齢者支援にとどまらない
働き盛り世代の時間を、
地域経済・コミュニティ活動へ還元



時間の還元が、地域の力を高める

3. 統合的な取り組みが重要



移動支援は、地域の損失を減らし、時間・労働力・つながりを
地域へ取り戻すための重要な**基盤投資**である

まちづくり部 ③ 旧下御糸小学校活用 — みーとBASE

廃校に新たな命を。「地域と人をつなぐ、多世代交流型ウェルビーイング施設」へ。

施設コンセプト（5機能）

- ・宿泊施設（大浴場・サウナ付／地元食材の食事）
- ・コミュニティスペース（多目的ホール・キッズ・図書）
- ・コワーキング／シェアオフィス（起業家支援）
- ・レストラン・カフェ・ショップ・伝統工芸工房
- ・「海業」連携（地元漁師の海産物・漁業体験）

令和8年度の取り組み

- ・基本計画策定・実施設計、関係各所との協議
- ・運営委託事業者の公募・選定
- ・施設改修工事への着手

18ヶ月

開業までの準備期間

1億円

初期投資（改修8千万＋設備2千万）

貸付・0円

希望する契約形態・価格

初年度黒字

収支見通し

地域住民の意見を反映した運営委員会を設置／地域住民を優先採用し雇用を創出（SDGsに配慮した施設運営）

まちづくり部 ③ 旧下御糸小学校活用 ― みーとBASE

開業スケジュール

開業まで準備期間として18ヶ月を想定

期間	工程
0～3ヶ月	基本計画策定、実施設計、関係各所との協議
3～6ヶ月	運営委託事業者の公募・選定
6～12ヶ月	施設改修工事
12～15ヶ月	運営体制構築、従業員採用・研修、広報活動
15～18ヶ月	プレオープン、地域住民への内覧会
18ヶ月後	グランドオープン

施設の運営体制: 3名体制(簡略化した組織図)＋パート・アルバイト

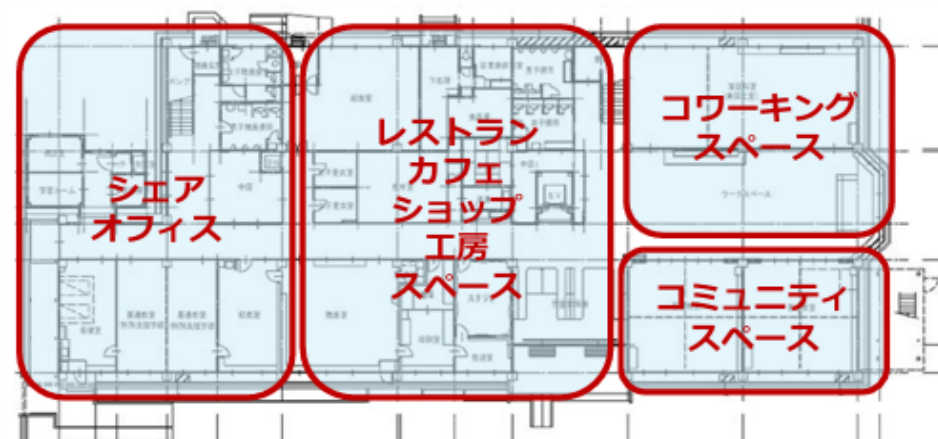
各スペースの運営: 運営事業者を公募、運営委託。地域住民の意見を反映。

従業員確保計画: 地域住民優先採用、多様な職種

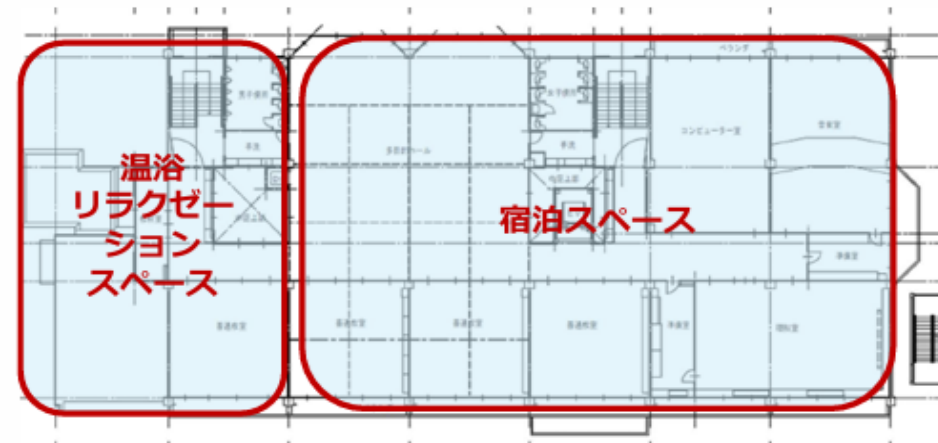
許認可: 必要許認可を取得

防災対策: 津波・洪水対策、非常用電源、消火設備、防犯カメラ、AED設置。地域イベント・スクールバス対応など、町と協議の上対応。

施設レイアウト図(構想)



<1階>



<2階>

1階: コミュニティスペース、コワーキングスペース、シェアオフィス、レストラン・カフェ・ショップ、2階: 宿泊施設(大浴場付き)、グラウンド: 多目的広場

まちづくり部 ④ 天津菅麻プロジェクト

2030年将来ビジョン 100年先へ紡ぐ、人と地球に優しい『麻の聖地』の創出

戦略① 産業化の推進

- ・ 栽培 ～ 加工 ～ 販売のサプライチェーン構築
- ・ CO₂吸収力の見える化（GX・脱炭素の実証）
- ・ エコ建材・繊維・美容分野などでの商品化

戦略② 伝統の継承

- ・ 伊勢神宮とつながる明和町独自の「麻文化」を保護・継承
- ・ 「伊勢麻・斎宮麻」としてのブランド確立
- ・ 麻 × 地域資源 × GX をつないだ観光コンテンツ化

0.60→7.60ha

麻の栽培面積（町内合計）

累計9人

麻にかかわる担い手育成

70社

プラットフォーム参加企業

7件

体験コンテンツ造成数

令和8年 地域未来交付金事業（地方創生推進交付金事業）

まちづくり部 ⑤ 海業 — 下御糸漁港を核とした賑わい創出

現状・課題

- ・ 正組合員が激減（H24:33名 → 近年1～3名）
- ・ 主力のノリ養殖・貝類採捕も低調で不安定
- ・ 漁港内の未利用地を活用し、新たな収益源の確保が不可欠

令和8年度の調査内容

- ・ 漁港の活用可能性・収益性・地域活性化効果の調査
- ・ 漁業者の理解と意識向上（活用ルール・安全対策）
- ・ 賑わい創出事業の段階的試行（体験モニターツアー）
- ・ 大淀漁港との役割分担／斎宮・観光との広域連携

目指す姿 「みーとBASE（旧下御糸小学校）」と連携し、海と陸をつなぐ下御糸エリア全体を活性化。漁港を核とした体験型観光の拠点化を進める道筋をつける基本計画を構築する。

事業主体：めいわ海業推進協議会／総事業費 500万円（国費）

2025年12月27日 漁師市

2022年3月20日 フィッシャーマンズ



まちづくり部 ⑤ 海業 — 下御糸漁港を核とした賑わい創出

海業の取組イメージ（ゾーニング案）



効果

- ・ 漁港の現状や地域課題の調査分析による漁業・水産業の振興・活性化
- ・ 観光や商業と連携した集客交流の推進と、漁業以外の収入確保による安定経営・雇用創出

協力体制

- ・ 伊勢湾漁業協同組合
- ・ (一社) 明和観光商社
- ・ 明和町
- ・ その他、大学、民間機関など

スケジュール

- | | |
|------|-------------------------|
| 令和5年 | 海業に関する調査実施 |
| 令和6年 | 海業実施に向けた調整 |
| 令和7年 | 実施計画の作成
テストイベント実施・検証 |
| 令和8年 | 令和7年の取組により検討 |

4、質疑応答

議員、行政、地元事業者、住民。それぞれの強みを持ち寄る「価値共創」へ



同じ目的地に向かうため、一人ひとりの強みを持ち寄り、対等な「価値共創」を進めましょう

のびしろを形にする、私たちの挑戦。失敗の反対は「やらないこと」

P



Positive - まずはやってみる。

I



Innovative - 常識を覆してみる。

C



Creative - 本質を考える。

“あなたの今日の一步が、10年後の世界遺産を創る”

住民、事業者、行政、議会、そして観光商社が一体となる。今、私たちの挑戦が始まります

俺らまだ のびしろしかないわ

明和町には、まだまだ計り知れないポテンシャルがあります。

私たち明和観光商社は「結び目」となり、皆様と共にこの「のびしろ」を確かな未来の形へと創り上げていきます。

これからの挑戦に、ぜひご参加ください。

本日は、説明会にご参加いただき
誠にありがとうございました。

アンケートのご回答をお願いいた
します。